

くすりのしおり

外用剤

2025 年 03 月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: リズモン TG 点眼液 0.25%

主成分: チモロールマレイン酸塩 (Timolol maleate)

剤形: 粘性のある無色～微黄色澄明の点眼剤、2.5mL、(キャップ) 半透明の淡オレンジ色

シート記載など:



この薬の作用と効果について

β受容体を遮断する作用によって房水の産生を減らすことにより、眼圧を下げます。通常、緑内障、高眼圧症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。気管支喘息またはその既往歴、気管支痙攣、慢性閉塞性肺疾患、心不全、洞性徐脈、房室ブロック、心原性ショック、肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全、糖尿病ケトアシドーシス、代謝性アシドーシス、糖尿病がある。コンタクトレンズを使っている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は((:医療担当者記入))
- ・通常、0.25%製剤を1回1滴、1日1回点眼します。なお十分な効果が得られない場合は、0.5%製剤を用いて1回1滴、1日1回点眼します。本剤は0.25%製剤です。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・点眼後は、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- ・点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、少なくとも10分以上の間隔をあけてから、必ず最後にこの目薬を使ってください。
なおやむを得ずこの目薬を先に点眼した時は、十分な間隔をあけてから他の目薬を使ってください。
- ・長時間室温に置き、ゼリー状になった場合は、30分以上冷蔵庫で冷やしてから点眼してください。（ゼリー状に変化しても品質には問題ありません。）
- ・点眼し忘れた場合は、その日のうちであれば、すぐに1回分を点眼してください。翌日に気づいた場合には、前日の分は点眼せず、通常どおり1回1滴を1日1回点眼してください。1日に2回点眼したり、1回に2滴点眼してはいけません。
- ・誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

- ・点眼直後に、点眼液が熱によりゲル化するため、まれにべたつくことがあります。薬の効果を持続させるための工夫なので、異常ではありません。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼刺激症状（灼熱感、かゆみ、異物感）などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・眼の充血、眼のかゆみ、眼の異物感 [眼類天疱瘡]
- ・息切れ、息苦しい、喘鳴（ヒューヒュー音） [気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全]
- ・呼吸困難、意識消失、立ちくらみ [心ブロック、うっ血性心不全、脳虚血、心停止、脳血管障害]
- ・発熱、赤い発疹、全身倦怠感 [全身性エリテマトーデス]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は5mL用点眼容器に2.5mL入っていますので、液の量が少なく見えます。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、添付の投薬袋に入れて、冷蔵庫（10℃以下）にて保管してください。
- ・開封後1ヵ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は

受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。